トステム株式会社

リーガルポートV　C1・C2・C3タイプ　取付け説明書

●この説明書は、施工完了後お施主様にお渡しください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

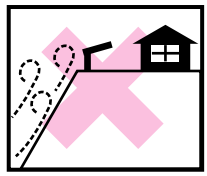
※□内は、ロットNO.表示位置を示します。

■施工される方へのお願い

⚠ 注　意

●製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項を厳守してください。

〔設置条件〕
・母屋の屋根からの雪が直接当たらない場所に設置してください。
・リーガルポートV　C1・C3タイプは積雪30cm（新雪）以下、リーガルポートV　C2タイプは積雪50cm（新雪）以下の地域用です。
・本製品は、地上階に取り付ける設計になっています。2階以上の高所には取り付けないでください。
・崖などの高低差のある場所には設置しないでください。



〔部材の固定〕
・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
・必ず指定の組立てねじ・ボルトで固定してください。

〔基礎〕
・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
※地下埋設物（給排水管など）に影響を与えないでください。
・寒冷地で凍上のおそれがある地域に取り付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
・基礎には、海砂・急結剤・凍結防止剤を使用しないでください。柱が腐食するおそれがあります。
・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・養生期間は十分（4日～1週間以上）とり、その間重い物をのせたり振動を与えたりしないよう指示してください。

〔施工〕
・取付けは、専門業者の方が行ってください。
・指定以外の改造・変更（階段屋根・母屋への取付け・4周の囲いなど）をしないでください。
・当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
・必ず当社指定の屋根パネルを使用してください。

●水漏れのおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

〔シーリング処理〕
・指定の個所にシーリング材を充てんしてください。

●製品腐食のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。

〔絶縁処理〕
・亜鉛・ステンレス以外の金属とアルミ形材が接触する場合は、絶縁処理をしてください。

■施工上のお願い

●水平・垂直は正確に出してください。施工に支障がでるおそれがあります。

■お施主様へのお願い

⚠ 注　意

●転落のおそれがありますので、屋根にのらないでください。
●製品破壊のおそれがありますので、リーガルポートV　C1・C3タイプは積雪30cm、リーガルポートV C2タイプは積雪50cmを超える前に雪下ろしをしてください。
※雪の重さは雪の状態によって大きく変化します。特に春先の雪は重く、降雨や湿雪の後などは、新雪に比べ約3倍の重さになります。（C1・C2タイプは積雪量1cm当たり3kg/㎡・比重0.3、C3タイプは積雪量1cm当たり2kg/㎡・比重0.2で算出）
※雪下ろしの際は、絶対に水をかけないでください。雪がさらに重くなります。

●当社指定の付属品以外は取り付けないでください。
●屋根の上にものをのせないでください。
●ボルト・ナット・ねじなどは絶対にゆるめないでください。
●雪下ろしは、プラスチック製のスコップなどで静かに行ってください。金属製のスコップなどを使用すると、屋根材が割れたり傷ついたりする原因になります。

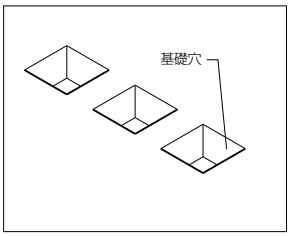
■構造説明図

※本図はリーガルポートV C1タイプ24サイズを示します。
※C2･C3タイプは補助柱が必要です。
※27･30サイズの母屋は5本です。

ブランドラベル
3 母屋
6 屋根材カバー
5 屋根パネル
ロットNO.表示位置
グレチャン
はりキャップ
4 アーチ
3 前枠
φ4×14ナベタッピンねじ（3種）
φ5×12ナベタッピンねじ（2種）
ロットNO.表示位置
φ5×14ナベタッピンねじ（3種）
2 はり
前枠端部キャップ
ロットNO.表示位置
柱カバー
φ5×80 皿タッピンねじ（1種） C3タイプのみ φ5×70 皿タッピンねじ（1種）
3 後枠
2 柱
1 基礎
水抜き穴（φ6） 現場加工
G.L.
3 後枠パネル押さえ
ロットNO.表示位置
4 側枠（左右勝手あり）
4 端部アーチ（左右勝手あり）
φ4×14ナベタッピンねじ（3種）
φ4×14ナベタッピンねじ（3種）
ブラケット
M10×30 六角ボルト（Wセムス）
ロットNO.表示位置
3 後付けビード
φ4×14ナベタッピンねじ（3種）
後枠端部キャップ
φ4×14ナベタッピンねじ（3種）
ぐり石
アンカー棒

■取付け詳細（基本タイプ）

1 基礎の施工



●柱埋込み位置を出し、地耐力･側圧を考慮の上、柱基礎穴を掘ります。
※地耐力･側圧により基礎の大きさが異なります。右表を参照の上、算出してください。
※地耐力が3未満の地盤には設置できません。

■地耐力の判定

地層の硬さ		素掘りでの判断基準	推定地耐力
粘土質	極軟	鉄筋を容易に押し込むことができる。	2以下
	軟	シャベルで容易に掘れる。	3
	中位	シャベルに力を入れて掘れる。	5
	硬	シャベルを強く踏んでようやく掘れる。	10
	極硬	つるはしが必要。	20
地下水面上の砂質土	非常にゆるい	穴壁が崩れやすく、深い足跡ができる。	3以下
	ゆるい	シャベルで容易に掘れる。	5
	中位	シャベルに力を入れて掘れる。	10
		シャベルを強く踏んでようやく掘れる。	20
	密	つるはしが必要。	30

■墨出し位置

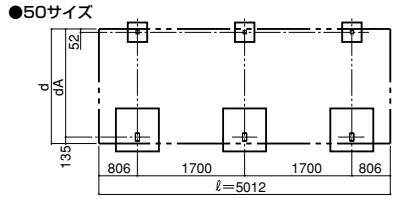
〔C1・C2タイプ〕

※C1タイプに補助柱は必要ありません。

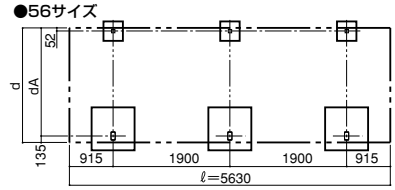
単位mm

サイズ呼称	d	dA
24	2400	2265
27	2700	2565
30	3000	2865

●50サイズ



●56サイズ

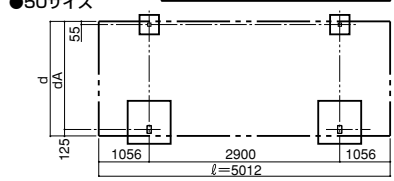


〔C3タイプ〕

単位mm

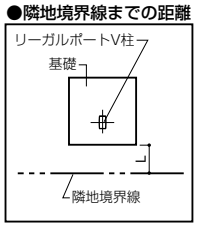
サイズ呼称	d	dA
24	2400	2275
27	2700	2575
30	3000	2875

●50サイズ

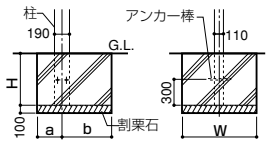
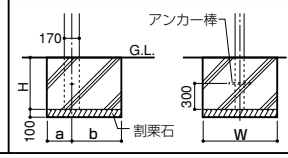
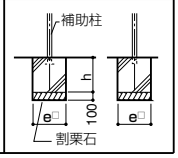


■側圧･基礎の大きさ判定

●隣地境界線までの距離

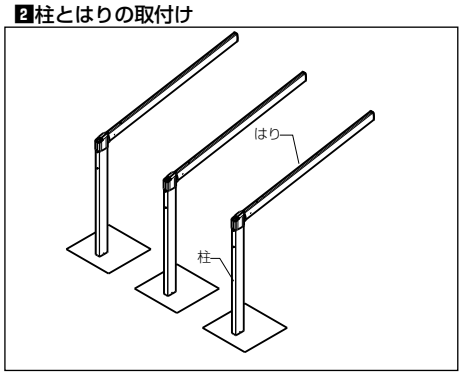


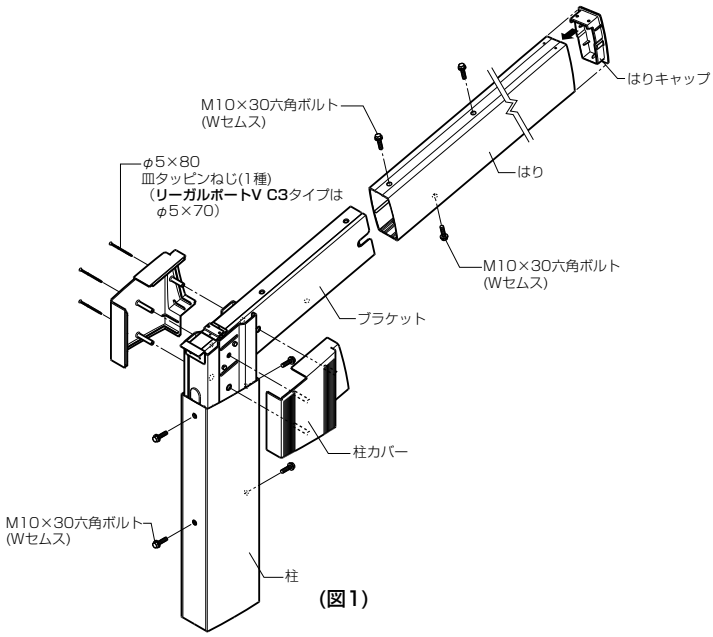
●基礎形状・アンカー棒使用本数

タイプ	C1・C2タイプ	C3タイプ	C2･C3タイプ用補助柱
アンカー棒	2本	1本	—
基礎形状			

タイプ	地耐力N	隣地境界線までの距離	基礎の大きさ a	b	W	H	e□	h
C1	3≦N<5	L≧450	300	900	900	600	—	—
		L<450	300	1150	900	600	—	—
	N≧5	L≧450	300	800	900	600	—	—
		L<450	300	1050	900	600	—	—
C2	3≦N<5	L≧450	300	650	900	600	400	400
		L<450	300	850	900	600	400	400
	N≧5	L≧450	300	550	850	600	400	400
		L<450	300	800	900	600	400	400
C3	3≦N<5	L≧450	300	650	900	600	450	400
		L<450	300	850	900	600	450	400
	N≧5	L≧450	300	550	850	600	450	400
		L<450	300	800	900	600	450	400

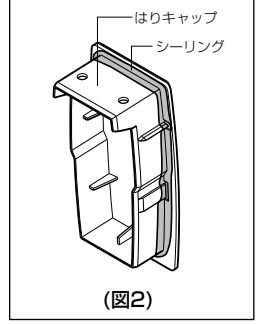
2 柱とはりの取付け





(図1)

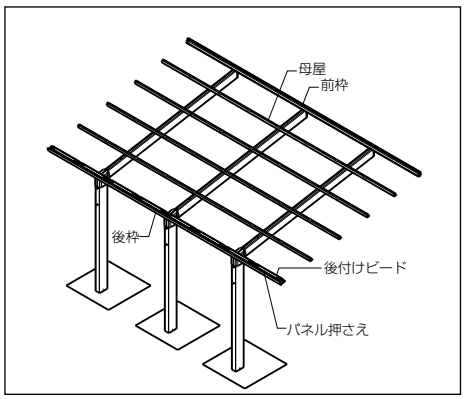
■シーリング個所



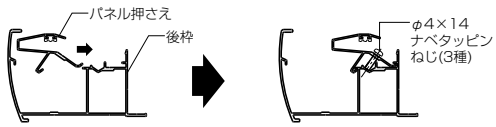
(図2)

①柱にブラケット・アンカー棒を取り付け、柱を建て込みます。
②はりをブラケットに取り付けます。（図1）
③柱カバーを取り付けます。
④はりキャップにシーリング材を充てんし（図2）、はりに取り付けます。
※はりキャップは、必ず前枠より先に取り付けてください。後からでは取り付けられません。
※「使用上の注意」ラベルが張ってある柱にたてどいセットを取り付けると、表示が見えなくなります。たてどいセットの取付けがない側に表示ラベルを向けてください。

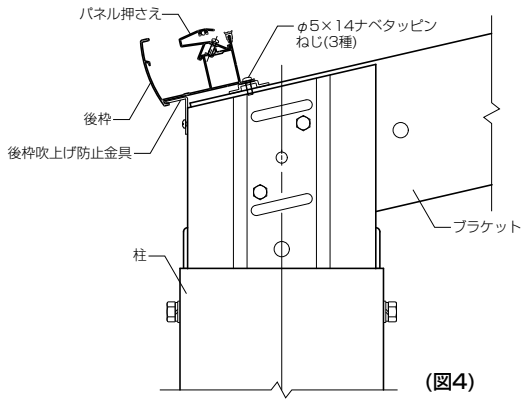
3 前枠・母屋・後枠・パネル押さえ・後付けビードの取付け



※後枠にはまっていることを確認してください。

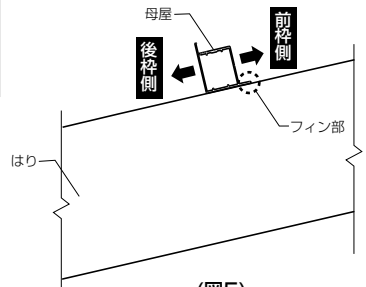


(図3)

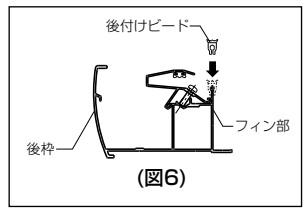


(図4)

※前枠側に必ずフィン部を向けてください。



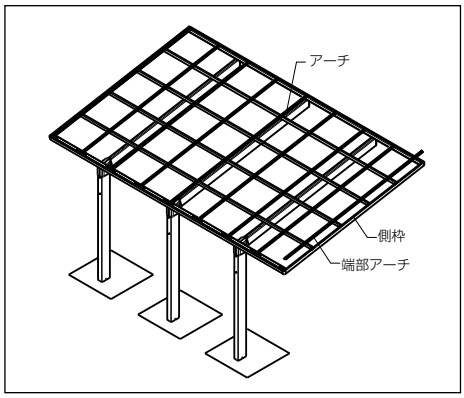
(図5)



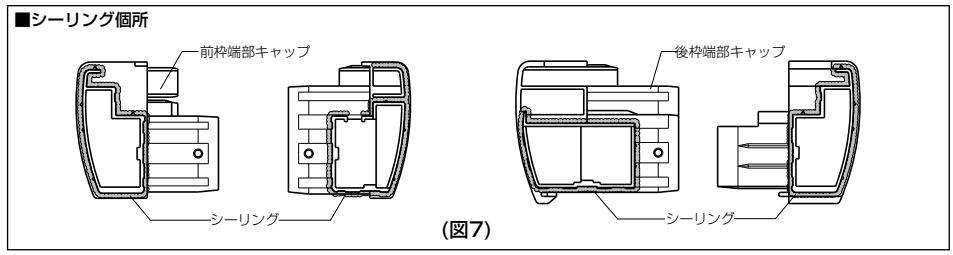
(図6)

①パネル押さえを後枠に取り付けます。（図3）
②後枠を後枠吹上げ防止金具に引っ掛けた後、ブラケットに取り付けます。（図4）
③前枠側にフィン部を向け、母屋をはりに取り付けます。（図5）
④前枠をはりに取り付けます。
⑤柱を移動した場合は、前枠・後枠・母屋の使用しない穴に穴ふさぎシールを張ります。
⑥後枠のフィン部に後付けビードをはめ込みます。（図6）

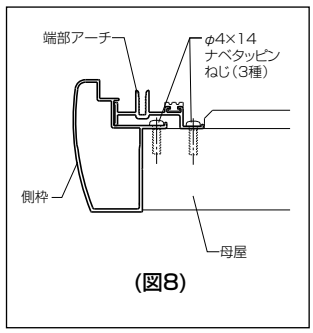
4 側枠・端部アーチ・アーチの取付け



■シーリング個所



(図7)

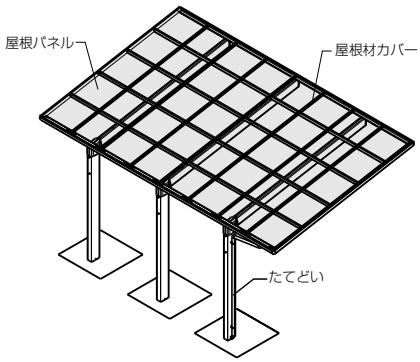


(図8)

(図9)

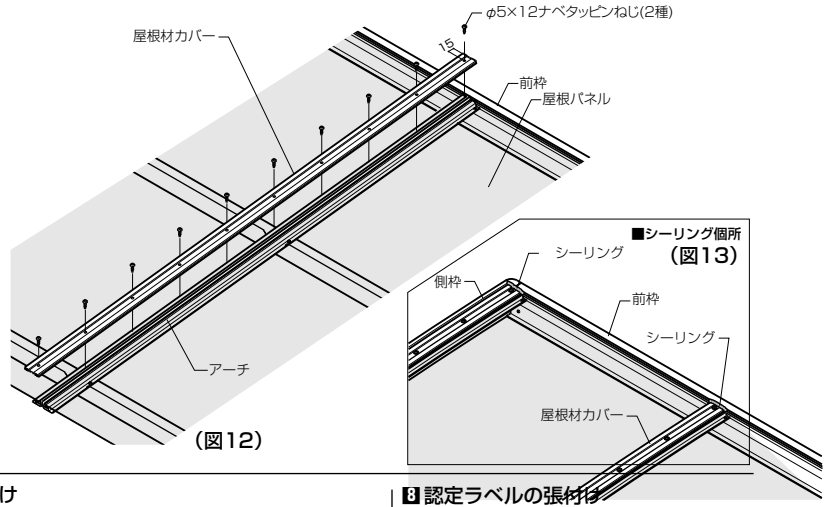
①前・後枠端部キャップにシーリング材を充てんし（図7）、側枠に取り付けます。
※側枠には左右があります。ブランドラベルがある方を前枠側にしてください。
②前・後枠・母屋に、側枠を取り付けます。
③端部アーチの左右を確認し、側枠の上から取り付けます。（図8）
④アーチの前後を確認し（図9）、取り付けます。
⑤屋根枠まわりの対角・水平出し及び柱の垂直出しをします。

5 屋根パネルの取付け
6 屋根材カバーの取付け
7 たてどいセットの取付け
8 認定ラベルの張付け



6 屋根材カバーの取付け

①屋根材カバーの前後を確認します。
※端部から15mmの位置に穴加工のある方が前です。
②前枠側から屋根パネルにねじ止めします。（図12）
※アーチとかみ合っていることを確認してください。
③前枠との間にシーリング材を充てんします。（図13）



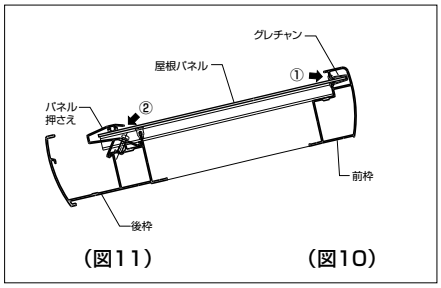
（図12）　（図13）

5 屋根パネルの取付け

①屋根パネルの端部にグレチャンを取り付け、水平に前枠に差し込みます。（図10）
②屋根パネルをパネル押さえに差し込みます。（図11）
※アーチ部ののみ込み寸法は、左右均等（14mm）にしてください。

■屋根パネル寸法表　単位mm

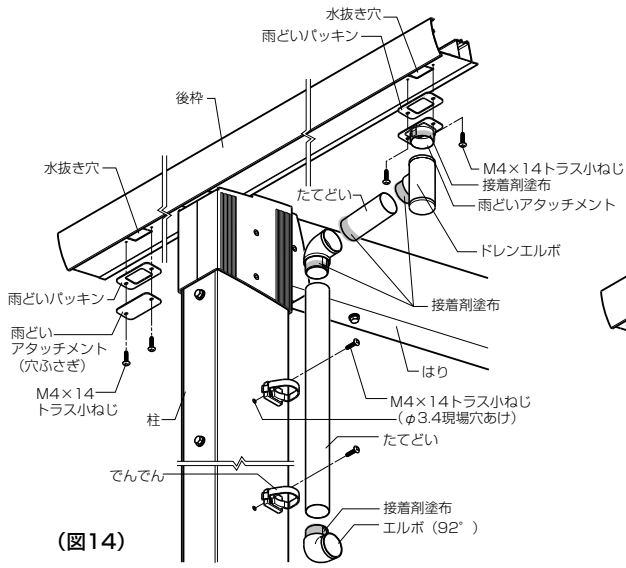
サイズ呼称	ℓ	W
24	2372	606
27	2677	
30	2982	



（図11）　（図10）

7 たてどいセットの取付け

①後枠両端にある水抜き穴のうち、片方にたてどいセットを取り付けます。（図14）
②もう一方の穴に雨どいアタッチメント（穴ふさぎ）を取り付けます。



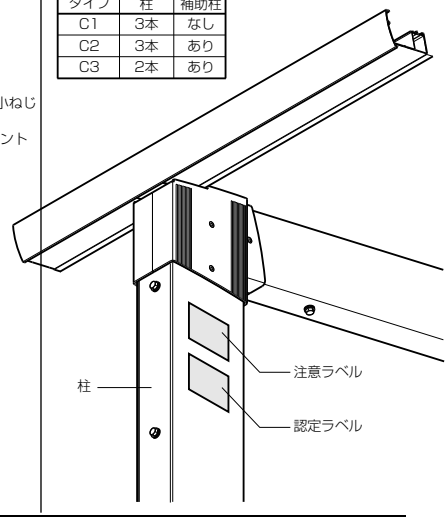
（図14）

8 認定ラベルの張付け

①柱に認定ラベルを張り付けます。
※設置したタイプのラベルを、見やすい位置に2枚張ってください。

■タイプ判別表

タイプ	柱	補助柱
C1	3本	なし
C2	3本	あり
C3	2本	あり



■M合掌の取付け

1 基礎の施工

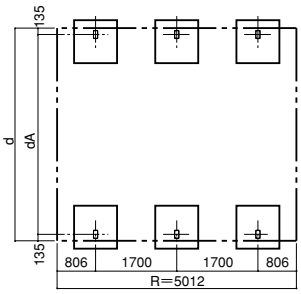
●柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。
※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

■墨出し位置　単位mm

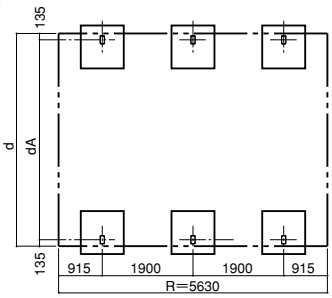
サイズ呼称	d	dA
24−24	4820	4550
27−27	5420	5150

〔リーガルポートV C1タイプ〕

●50サイズ



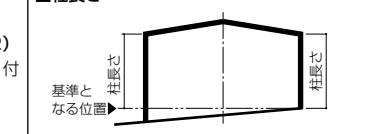
●56サイズ



2 本体の取付け

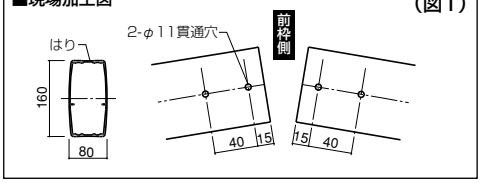
①組立て前に、はりの前枠側にφ11の貫通穴をあけます。（図1）
②柱・はりを組み立てて建て込み、はり接続金具ではり同士を接続します。（図2）
③M合掌カバーをはり接続金具の上にのせた後、前枠・母屋・後枠・側枠を取り付けます。（図3）
④M合掌棟木・M合掌棟木キャップを取り付けます。（図4・5参照）
※M合掌部以外の取付けについては、基本タイプを参照してください。
※基準となる位置からの柱長さを同じにしてください。合掌棟木に水がたまり漏水するおそれがあります。（図6）

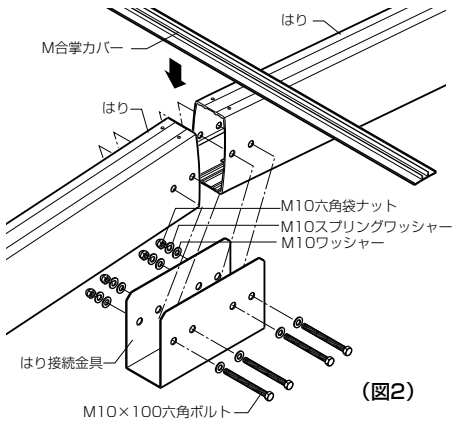
■柱長さ



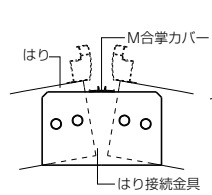
（図6）

■現場加工図　（図1）

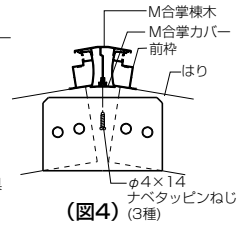




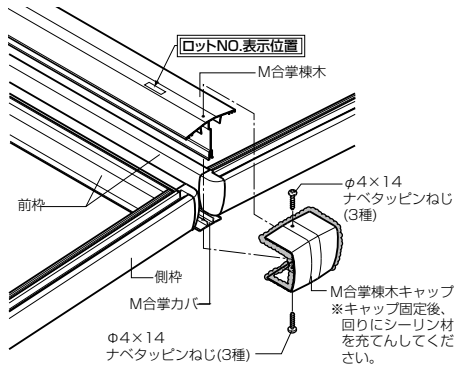
（図2）



（図3）



（図4）



（図5）

■縦連棟・12連棟の取付け

1 基礎の施工

●柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。※基礎構造については、基本タイプを参照してください。

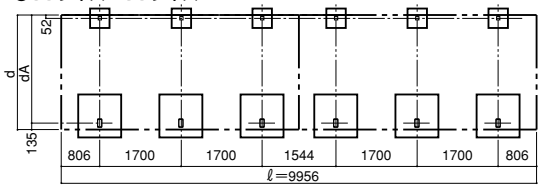
■墨出し位置

〔C1・C2タイプ〕 単位mm

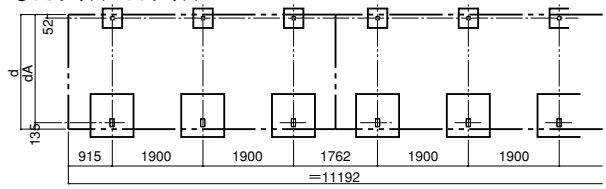
サイズ呼称	d	dA
24	2400	2265
27	2700	2565
30	3000	2865

※C1タイプに補助柱は必要ありません。

●50サイズ+50サイズ



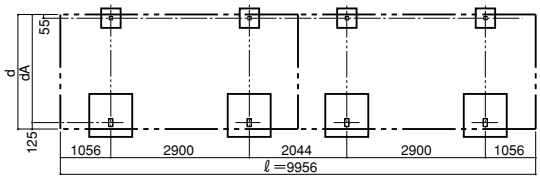
●56サイズ+56サイズ



〔C3タイプ〕 単位mm

サイズ呼称	d	dA
24	2400	2275
27	2700	2575
30	3000	2875

●50サイズ+50サイズ



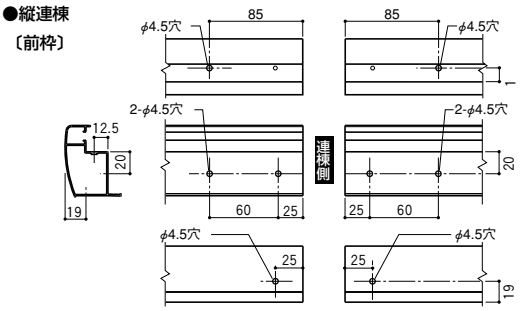
2 本体の取付け

①組立て前に、前枠・母屋・後枠の連棟側にφ4.5穴をあけます。**(図1)**
②連棟部にシーリング材を充てんし**(図2)**、接続します。**(図3)**
※連棟部以外の取付けについては、基本タイプを参照してください。

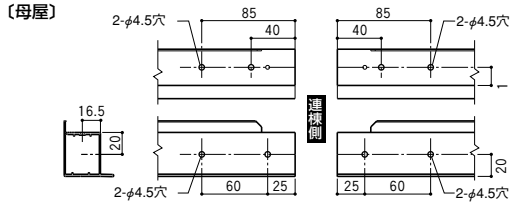
■現場加工図 **(図1)**

●縦連棟

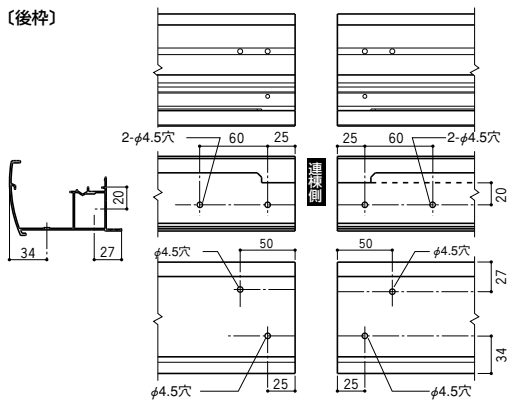
〔前枠〕



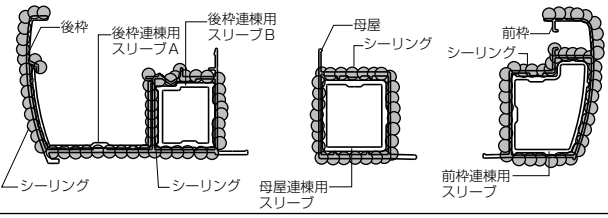
〔母屋〕



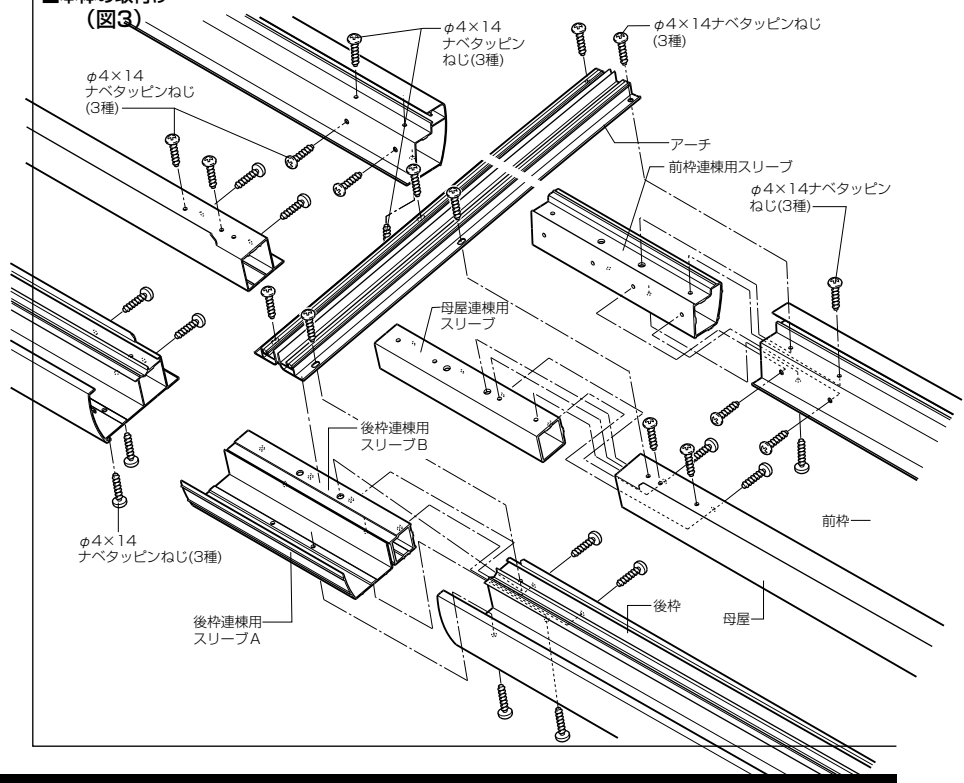
〔後枠〕



■シーリング個所 **(図2)**



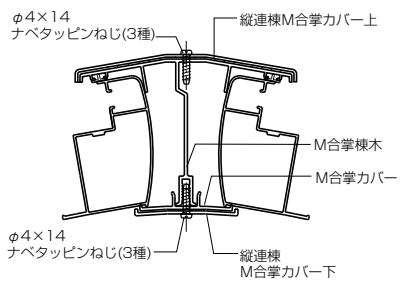
■本体の取付け **(図3)**

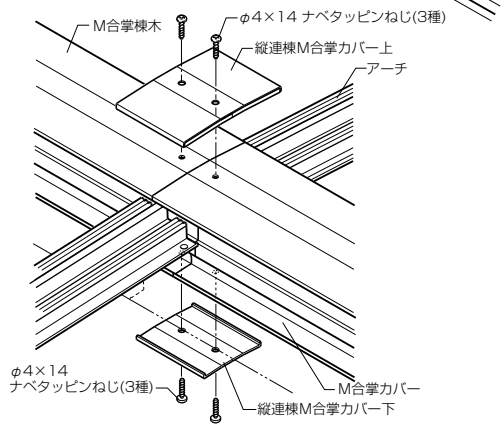


■縦連棟M合掌

※現場加工はありません。
①合掌棟木・合掌カバーの接続部に、縦連棟合掌カバー上・下を取り付けます。**(図4)**
※連棟部以外の取付けについては、M合掌の取付けを参照してください。

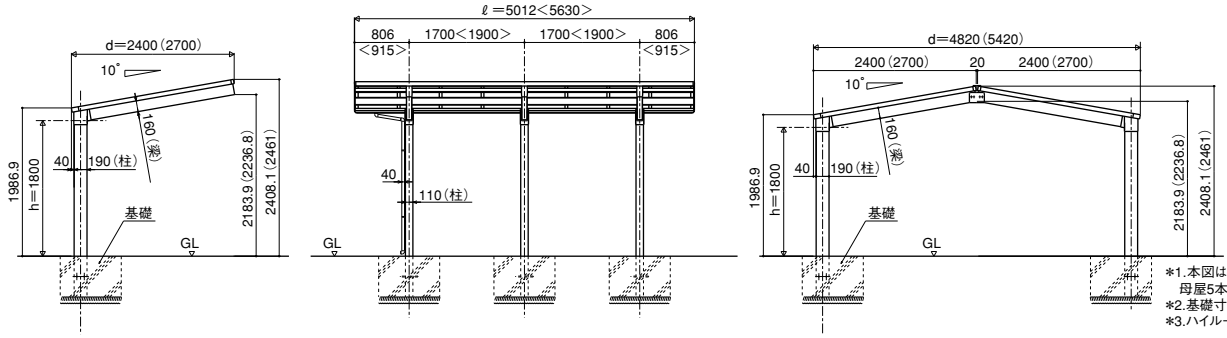
(図4)





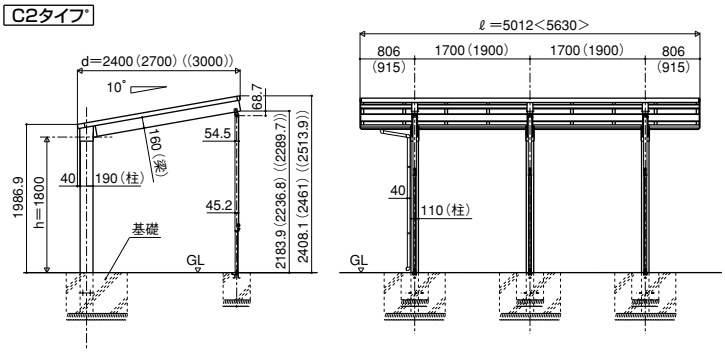
■参考納まり図

C1タイプ

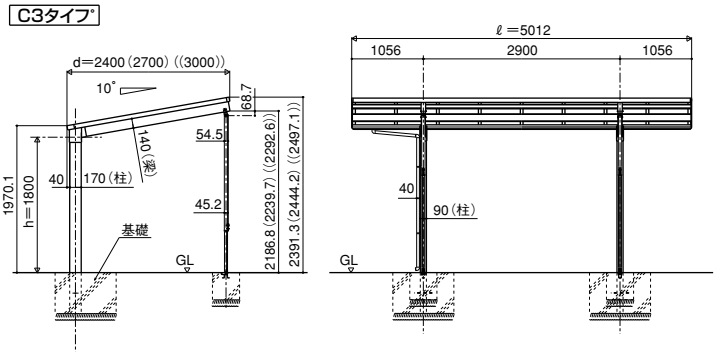


*1.本図はd=24サイズを示し,d=27サイズは母屋5本仕様となります。
*2.基礎寸法は基礎詳細図を参照。
*3.ハイルーフタイプは標準タイプ+500です。

C2タイプ

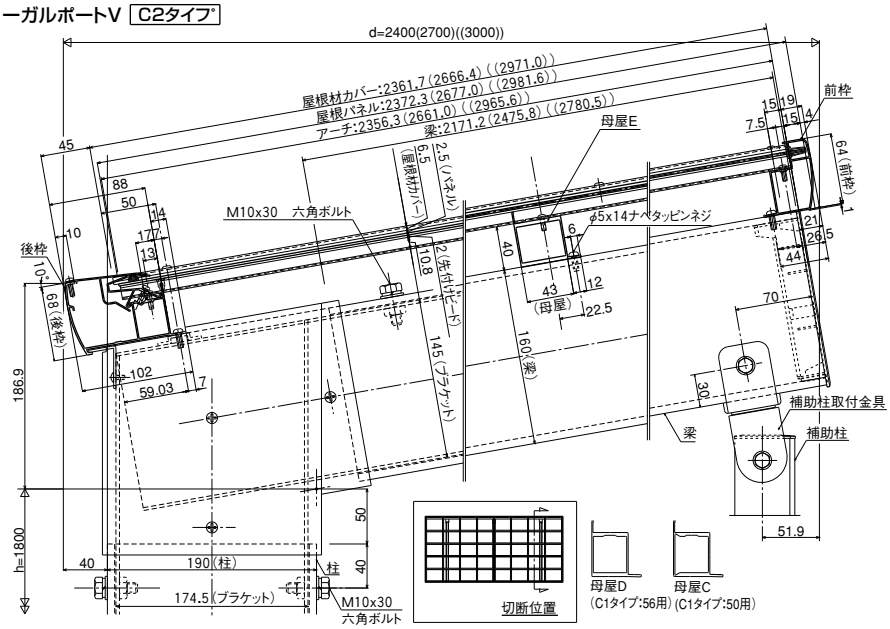


C3タイプ

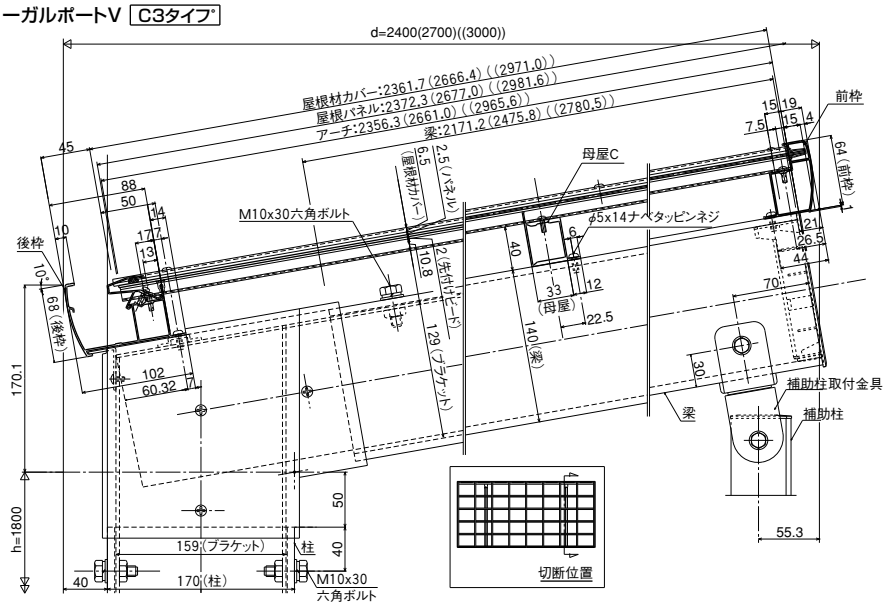


■断面図

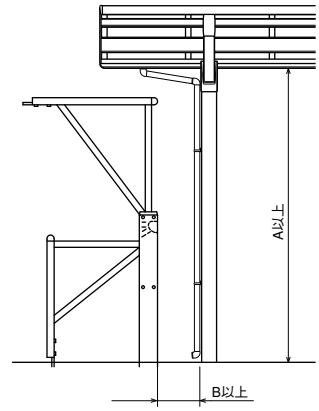
リーガルポートV C2タイプ



リーガルポートV C3タイプ



●オーバードアと施工される場合



※オーバードアを桁下に施工される場合は、ロング柱を使用してください。
※下表の場合はオーバードアが桁下に納まりません。
桁下からずらして施工してください。

	円昇・標準タイプ				円昇・ハイルーフタイプ			
	H:10		H:12		H:10		H:12	
	A	B	A	B	A	B	A	B
C1・C2タイプ	2070	150	2110	350	2370	100	2370	200
C3タイプ	2060	150	2100	350	2360	100	2360	200

	直昇・標準タイプ				直昇・ハイルーフタイプ
	H:10		H:12		
	A	B	A	B	
C1・C2タイプ	2210	250	2300	450	施工不可
C3タイプ	2200	250	2290	450	施工不可